

研究主題

伝え合い、学び合える児童の育成
～ICTの活用を通して～

日 時 令和3年12月8日(水)
第5校時 13:30~14:15
対 象 第2学年2組 24名
授業者

1、単元名 B 器械・器具を使っの運動遊び イ マットを使った運動遊び

2、単元の目標

- ・いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をする。(知識・技能)
- ・簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝える。(思考・判断・表現)
- ・運動遊びにすすんで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりする。(学びに向かう人間性)

3、単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考・判断・表現	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をしている。	器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫しているとともに、考えたことを友達に伝えている。	運動遊びに進んで取り組もうとし、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしようとしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりしている。

4、研究主題に関わる児童の実態と、ICT活用の具体的な手立て

(ア) 児童の実態

本学級の児童は、運動が好きで、体育の授業も楽しみにしている児童が多くいる。走ることが苦手な児童やボール運動が苦手な児童もいるが、体育の授業には意欲的に体を動かす姿が見られる。体を動かすことが好きで、休み時間も外で、ボール遊びや鬼ごっこをする児童が多い。

低学年の特性としてまだまだ自分のことが中心であることが多く、友達の動きを見て学び合うことは難しい。体育では、児童が運動の楽しさを味わうことが学習の中心となることが多い。そのため、録画機能を活用して、見るポイントを絞り、伝え合う場面を設定した。意図的に価値つけて指導を継続しながら、伝え合い学び合う場面を段階的に設定し、学び合える児童の育成を図っていきたい。

学習の前にアンケートをとった。マット遊びを好きだと答える児童が、21人、苦手とする児童が3人いる。本単元の学習を通して、マット運動の楽しさを味わわせて、自信をもたせて第3年学年以降のマット運動へつなげていきたい。

(イ) ICT活用の工夫や意図

① 運動のお手本となる動きの提示。

今回は「NHKforschool」の動画を活用して、前転や後転のポイントを確認した。つまずきやすい例も収録されているので児童にとっても分かりやすかったのではないかと考える。

② 自分の動きを動画撮影して振り返る。

ミライシードのオクリンクの動画機能を活用し、自分の動きを振り返りながら理解を深めたり、技能を高めたりするために活用した。単元はじめにタイムシフトカメラの活用もした。

③ 学習カードの替わりとして、Microsoft Formsの活用。

振り返りと、毎回の学びや気付いたことを記入して児童の振り返りとした。振り返りの文面の中に本時でつかませたいことばが多く出てきているか、テキストマイニングを活用することで、教師の振り返りにも活用した。

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

両手で支えての体の保持や、回転につながる動きができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容（学習活動）T:教師の発問 C:予想される児童の反応	・指導の工夫 ★ICTの活用・工夫 ○指導上の留意点 ◎評価規準（観点）
導入	○じゅんぴタイム ・準備体操（2分） ・準備運動（5分） （ゆりかご、エビのポーズ、ブリッジ、前回り）	・隣との感覚をとりぶつからないように間隔を確認させる。 ・安全に配慮し、1枚のマットを4人で使う。 ・手をつく位置を意識するためにマットの中央にテープを貼っておく。 ・基礎感覚づくりを意識して準備運動を行う。
展開 1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ころころランドで楽しもう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを確認する。（7分） <ul style="list-style-type: none"> ① 手を耳の横に置く。 ② おしりかかとかから離して下ろす。 ③ 体を丸めて勢いよく転がる。 ④ 体を丸める、手で押して起き上がる。 <p>○チャレンジタイム（5分） グループに分かれて練習をする。 他の児童がやっているところを見て手が正しくついているか互いに見合い、伝える。 C: うまく回れない！ C: 手はうまくつけてるよ！ C: うまく手をつけないなあ C: 上手に、回れたよ！ ○つたえあいタイム（5分） ・グループで撮影した動画から、動きを確認する。</p>	<p>○手本の画面を確認しやすいようマットを放射線状に配置する。 ★手本の確認のため「NHK for school」を活用して視覚的に理解できるようにする。（教材・課題把握） ○後ろ転がりの動きの中で、両手をつくことに焦点化して運動させる。 ○手はつけているが勢いが足りない児童には、踏切台を使用して、マットに傾斜をつけて勢いをつくようにする。 ◎手を耳の横に置き、マットに手のひらをつけることができる。（知識・技能）</p> <p>★動きを自分で見やすくするために録画機能を活用する。（自他の評価・改善）</p>
展開 2	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体で伝え合う。 ・上手にできていた友達を発表し、モニターで確認する。 <p>○ふかめタイム（11分） 再度練習する。</p> <p>片付け5</p>	<p>★ミライシードのオクリンクにて動画を撮り、提出した動画を元に見てみる。（自他の評価・改善） ★共有できるようにモニターを活用する。（協働・協議）</p> <p>◎友達の良かったところを積極的に発表しようとする。（主体的に学習に取り組む態度）</p>
終末	・振り返りをする。	★マイクロソフトフォームスで集計する。（自他の評価・改善）